

抗議文

米原子力潜水艦キーウエストの横須賀基地入港に強く抗議する。横須賀基地は原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦キーウエストはただちに出て行くこと。

米海軍第7艦隊司令官 ロバート・トーマス中将 殿

在日米海軍司令官 テリー・クラフト少将 殿

米海軍横須賀基地司令官 ディビット・グレニスター大佐 殿

2014年9月2日

原水爆禁止神奈川県協議会

神奈川県労働組合総連合

新日本婦人の会神奈川県本部

神奈川県商工団体連合会

神奈川県平和委員会

安保廃棄神奈川県統一促進会議

原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会

8月30日午前10時15分、ロサンゼルス級攻撃型原子力潜水艦キーウエストが横須賀基地に入港した。原子力潜水艦の入港は今年7回目、原子力艦船の入港も9回目で、通算890回となった。

原子力潜水艦ジョージ・ワシントンが、本日横須賀港を出港するまで原子力艦船が2隻、原子炉が3基横須賀港に滞在する異常な事態である。

米軍はこの間南シナ海や東シナ海などにおいて様々な軍事演習をくり返し、北東アジアの軍事的緊張をもたらしている。今回の米原潜キーウエストの横須賀入港も同様の行動であり怒りをもって強く抗議する。

米原潜の核兵器搭載の可能性は否定できず、「核持ち込み」の問題も重大である。核密約によって核が横須賀に持ち込まれていたことはすでに明らかになっている。核を積んでいないことを証明すると同時に、核「密約」はただちに破棄することを要求する。

首都圏や三浦半島で巨大地震の発生確率が高まっている。神奈川県民は、巨大地震による原子力艦船の原子炉事故に強い不安を抱いている。われわれはこれまで、再三にわたって巨大地震による原子力艦船の事故の可能性や影響、対策について検証し情報を公開することを要求してきたが、米軍は一切無視している。県民の要求に誠実に答えようとしない中で、原潜の横須賀入港は到底許されない。改めて巨大地震による原子力艦船の原子炉事故の可能性や影響、対策について明らかにすることを改めて要求する。

横須賀基地は原子力艦船の母港ではない。原子力潜水艦キーウエストは、ただちに横須賀から出て行くこと、原子力空母の横須賀母港もただち撤回することを重ねて要求する。

以上